

教科名	数学	学 年	1	週時間数	4
使用教科書	「未来へひろがる数学1」(啓林館)				
副教材等	「数学の問題ノート」(新学社)				

教科 の 目 標	○正の数と負の数, 文字を用いた式と一元一次方程式, 平面図形と空間図形, 比例と反比例, データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに, 事象を数理的に捉えたり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 ○数の範囲を拡張し, 数の性質や計算について考察したり, 文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力, 図形の構成要素や構成の仕方に着目し, 図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力, 数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし, その特徴を表, 式, グラフなどで考察する力, データの分布に着目し, その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり, 不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。 ○数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとする態度, 問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度, 多面的に捉え考えようとする態度を養う。				
	○学習の定着と理解を深めるために, 教科書などの問題に取り組む際, グループ活動など様々な形態を取り入れます。 ○ジャンプ課題に取り組むことで深い学びを身に付けていきます。				
観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
評価	つ け たい 力	○基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに, 事象を数理的に捉えたり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりすることができる。	○数の範囲を拡張し, 数の性質や計算について考察することができる。	○文字を用いて数量の関係や法則などを考察することができる。	○数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとすることができる。
			○図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察することができる。	○関数関係の特徴を表, 式, グラフなどで考察することができる。	○問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり, 多面的に捉え考えようとしたりすることができる。
	方 法	・定期テスト ・授業課題 ・授業中の問題解決の様子	・定期テスト ・授業中の問題解決の様子 ・グループでの活動の様子		・授業中の問題解決の様子 ・副教材, ノートの内容 ・グループでの活動の様子
		○問題をしっかり解こう。 ○用語や法則を理解しよう。 ○間違えた問題は繰り返し挑戦しよう。	○問題解決の過程を, 数学的な表現を用いて説明しよう。 ○自分の考えを周りに伝えよう。		○人の話をよく聴こう。 ○粘り強く学習しよう。 ○わからないところを質問して解決しよう。
学習 の ポ イ ン ト	授 業 の 場 面	○学習した内容は, その日のうちに見直しをしよう。 ○プリント, ノート, ワーク等で復習しよう。 ○自分なりに, 答えに至るまでの式や理由も考えよう。			
定期 テス ト 範 疇	1 学期中間(5月中旬頃)	正の数・負の数			
	1 学期期末(6月中旬頃)	文字の式, 方程式			

圏	2 学期中間(9 月下旬頃)	方程式，変化と対応
	2 学期期末(11 月下旬頃)	変化と対応，平面図形
	学 年 末(2 月中旬頃)	平面図形，空間図形，データの活用

学期	月	単元	学習のねらい	おもな学習内容
1	4	正の数・負の数	・正の数と負の数の四則計算ができる。 ・具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり，処理したりすることができる。	・正の数・負の数
	5		・自然数を素数の積として表すことができる。	・正の数・負の数の計算
	6		・算数で学習した数の四則計算と関連づけて，正の数と負の数の四則計算の方法を考察し，表現することができる。 ・簡単な一次式の加法と減法の計算をすることができる。	・正の数・負の数の利用
		文字の式	・数量の関係や法則などを文字を用いた等式や不等式に表すことができることを理解し，文字式を用いて表したり，文字式を読み取ったりすることができる。	・文字を使った式 ・文字式の計算
	7	方程式	・簡単な方程式，比例式を解くことができる。	・方程式
2	9		・方程式，比例式を具体的な場面で活用することができる。	・方程式の利用
	10	変化と対応	・座標の意味を理解することができる。 ・比例，反比例の関係を表，式，グラフに表すことができる。 ・比例，反比例として捉えられる 2 つの数量について，表，式，グラフを用いて調べ，それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 ・比例，反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し，表現することができる。	・関数 ・比例 ・反比例 ・比例・反比例の利用
	11			
		平面図形	・平行移動，回転移動及び対称移動について理解することができる。 ・線分の垂直二等分線，角の二等分線，垂線などの基本的な作図の方法を理解することができる。 ・おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。	・直線と図形 ・移動と作図の利用 ・円とおうぎ形
	12			

3	1	空間図形 データの活用	・空間における直線や平面の位置関係を理解することができる。 ・基本的な柱体や錐体，球の体積と表面積を求めることができる。 ・立体を線分や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり，立体を平面上に表現して，平面上の表現から立体の性質を見いだしたりすることができる。	・立体と空間図形 ・立体の体積と表面積
	2			
	3		・ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解することができる。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解することができる。	・ヒストグラムと相対度数 ・データにもとづく確率

教科名	理科	学 年	1	週時間数	3
使用教科書	「未来へひろがるサイエンス1」（啓林館）				
副教材等	・グラフィック「理科資料集」（新学社） ・「理科の学習」（浜島書店）				

教科 の 目 標	○自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 ○観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる。 ○自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる。		
授業 の 進 め 方	○グループ学習を取り入れて知識の定着と理解を深めていきます。必要に応じてビデオ等も見ます。 ○身近な自然現象を日常生活や社会と関連付けながら理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けます。 ○身近な自然現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見いだして表現します。また、探究の過程を振り返ります。 ○観察・実験はグループで行います。実験後にレポートを完成して、提出します。 ○定期テスト・小テスト等を行います。		
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価	つ け た い 力	○物質やエネルギー、生命や地球に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ○科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	○物質やエネルギー、生命や地球に関する事物・現象から問題を見出している。 ○見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析することができる。 ○分析したことを解釈し、表現するなど科学的に探究している。
	方 法	・定期テストや小テスト ・実技テスト ・観察実験の様子 ・授業での発言内容	・授業プリントや振り返りプリントの内容 ・観察実験への取り組み方 ・授業での発言内容 ・自主学習の取り組み ・定期テストや小テスト
	学 習 の ポ イ ン ト	○授業の中で出てきた重要語句で、理解できなかった部分は、教科書や資料集を活用しながら、知識として定着できるようにしよう ○目的や意図を考えながら、観察実験を行おう。	○授業の内容だけでとどまることなく、「もっと知りたい」「なぜ？」を大事にし、自ら調べて知識を増やしていこう。 ○仲間の考えを尊重しあい、仲間の意見と自分の意見を比較して、科学的な見方や考え方を高めよう。
	家 庭	○普段からテレビなどで放送される科学的な事象についてのニュースなどに目を向けて、授業で学習した科学的概念とのつながりを意識しよう。 ○学習した内容は、教科書やワークシートをしっかりと見返して、理解と定着を図ろう。 ○授業で習った部分のワークを日々進めていくことで、理解を深めよう。 ○自主学習ノートを利用して、知識を増やしていこう。	
定期 テ ス ト 範 囲	1 学期中間(5月下旬頃)	自然の中にあふれる生命 植物の特徴と分類	
	1 学期期末(6月下旬頃)	動物の特徴と分類 いろいろな物質とその性質	
	2 学期中間(9月下旬頃)	いろいろな気体とその性質 水溶液の性質 物質のすがたとその変化	
	2 学期期末(11月下旬頃)	光による現象 音による現象 力による現象	
	学 年 末(2月下旬頃)	身近な大地 ゆれる大地 火をふく大地 語る大地	

学期	月	単元	学習のねらい	おもな学習内容
1	4	自然の中にあふれる生命	・人の生活と環境との関わりを調べる活動を理解し、調査などに関する技能を身につける。	・ルーペの使い方 ・スケッチの仕方 ・顕微鏡・双眼実体顕微鏡 ・生物の仲間分けの仕方
	5	いろいろな生物とその共通点	・生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を身につける。 ・身近な生物についての観察、実験を通して、生物の調べ方の基礎を身につけるとともに、生物の体のつくりと、はたらきを理解し生物の種類やその生活について認識を深める。	・花のつくり ・子葉、葉、根のつくり ・種子をつくらない植物 ・植物の分類 ・動物の体のつくりと生活
	6			・背骨のある動物 ・背骨のない動物 ・動物の分類
	7	身のまわりの物質	・身のまわりの物質についての観察、実験を通して、固体や液体・気体の性質、物質の状態変化について理解する。 ・気体の発生方法や捕集法を気体の性質から理解する。 ・水溶液の定義、濃度、溶解度を理解する。	・物質の区別 ・重さ・体積と物質の区別 ・気体の区別 ・身のまわりのものから発生した気体の区別 ・物質のとけ方 ・濃さの表し方 ・溶質の取り出し方 ・物質のすがたの変化
2	9	光・音・力による現象	・水溶液から溶質を取り出す方法を理解する。	・状態変化と温度 ・混合物の分け方
	10		・身近な物理現象についての観察、実験を通して、光や音の規則性、力のはたらきや表し方を理解するとともに、これからの事象を日常生活と関連づけて、科学的な見方や考え方を身に付ける。	・光の進み方 ・光が通り抜けるときのようす
	11			・レンズのはたらき ・音の伝わり方 ・音の大小と高低
	12		・力、質量、重さの関係を理解し、力を図示し、力の関係を調べ、その特徴を身につける。	・力のはたらき ・力の大きさのはかり方 ・重さと質量 ・力の表し方 ・2つの力がはたらくとき

3	1	活きている地球	・地震活動, 火山活動を地球内部のはたらきと関連づけてとらえる。	・身近な大地の変化 ・地域の大地の観察 ・ゆれの発生と伝わり方 ・ゆれの大きさ ・日本列島の地震
	2			
	3			
			・地層が過去の自然環境と変動を知る手がかりになることを理解する。	・火山の噴火 ・マグマの性質と火山 ・マグマからできた岩石 ・日本列島の火山
			・地層や地形からと現在の現象を関連づける考え方を身につける。	・地層のでき方 ・地層の岩石 ・地層・化石と大地の歴史 ・大地の恵みと災害